地元開催の大会で中学２年生のクラブ員が高校生などを抑え３位入賞・・・それも

　日本シーホッパー協会主催で運営全般をＢ＆Ｇ高松海洋クラブが行った「第２９回西日本シーホッパー級ヨット選手権大会」と「第２３回西日本シーホッパー級ＳＲヨット選手権大会」が ７月１２日（土）～１３日（日）香川県高松市の高松市営ヨット競技場で開催されました。

台風８号で開催が危ぶまれていた大会も、台風の影響もなく晴天に恵まれ初日を迎えました。

シーホッパー級のクラスに愛知・大阪・長崎・愛媛・徳島・地元香川から１１名の参加があり、シーホッパー級ＳＲクラスには長崎や愛媛のＢ＆Ｇ新居浜海洋クラブ２人に地元Ｂ＆Ｇ高松海洋クラブから５人など１５名の参加がありました。

初日は午後から瀬戸内には珍しく３ｍから３．５ｍの風に恵まれ料クラス共３レースを実施しました。

夕方からはハーバーで海洋クラブのお母さんがたの準備で交流会も開かれまた。

２日目は朝から強い雨で開催が危ぶまれましたが、４レース目は11時過ぎ東の風２．５ｍ風でシーホッパークラスはスタート。

ＳＲクラスはゼネリコを繰り返し１１時４０分過ぎスタートしました。

シーホッパークラスは５レース目を実施しましたが、ＳＲクラスはスタート時に風が２ｍ以下に落ち、大潮の時期で潮も強く中止となりました。

両クラス共、今年の国体開催県の長崎勢が上位を占めましたが、２０１６年のリオ五輪を目指す原田小夜子選手の走りはダントツでした。

またＳＲクラスの３位に入ったＢ＆Ｇ高松海洋クラブの御厩選手（高松市立桜町中学２年）はいつもはミニホッパーで練習していて、この大会で初めてＳＲに乗りレースに臨みましたが高校生をしり目に、堂々の３位入賞を果たしました。

 閉会式前には小豆島の手延べそうめんの無料食べ放題が行われ、選手はもとより

同じ海面で練習していたジュニアのクラブ員にも振る舞われ、おいしそうに食べていました。